



伝承される地域の味

第1回郷土料理教室・3/4

No.5

八銚自治振興センターで、第1回郷土料理教室が開催され、15人が参加しました。

当日は、長尾和子さんと木村文枝さんを講師に迎え、子育て世代の参加者と一緒に、桃の節句のお菓子「ほとき」「じゃがいももち」「豚汁」を作りました。

参加者は「郷土料理の作り方を教わることができ、とてもいい経験になった」と話しました。

講師の長尾さんは「私が油木のサロンで約20年前に教わった『じゃがいももち』は、おいしくて作るのも簡単なので、ぜひご家庭でも作ってください」と話しました。



▲講師と一緒に郷土料理の作り方を学ぶ参加者

春雨の中を駆け抜ける

山王さん祭早馬神事・4/20

No.4

山内町の日吉神社で「山王さん祭」の早馬神事が行われました。

この神事は、戦国時代、甲山城主山内隆道が山陰の尼子氏との合戦前に神社で必勝祈願し、騎馬武者3騎の活躍で勝利したことに由来します。

当日は、3騎の騎馬武者が太鼓の合図で鳥居をくぐり、多くの観客が見守る中、悠々と参道を駆け上がりました。

神事を見に来た来場者は「間近で駆け上がる騎馬は思っていたより大きく、とても迫力があつた。戦国時代を再現した勇ましい騎馬の走りを見れて大変良かった」と話しました。



▲参道を駆け上がる騎馬武者

庄原の春を満喫！

第9回庄原さくらフェスティバル・4/6

No.1

上野総合公園で庄原さくらフェスティバルが開催され、子どもから大人まで約1万5千人が来場しました。

当日は晴天に恵まれ、ステージでは吹奏楽団の演奏や子ども神楽の上演などが行われたほか、会場には約90の出店があり、多くの人でにぎわいました。

陸上競技場内に設置された庄原市制施行20周年記念エリアでは、2台の大型ふわふわドームやドローンサッカー体験会、ゆるキャラとかけっこや綱引きができるイベントもあり、子どもたちは大興奮でした。

来場者は「子どもたちがゆるキャラと間近で触れ合えて、とても楽しそうだった。天気も良く、おいしい食事ができる店舗も多くて満足した」と話しました。



▲ステージ裏からの会場風景

また、市保健医療課による健康チェックコーナーが設置され、糖尿病に関するパネル展示や1日の野菜摂取量当てクイズ、

血圧・体組成測定、食育を目的とした豆うつしゲームなどに、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加がありました。



▲豆うつしゲームに挑戦する参加者



▲子どもたちの綱引き勝負に敗れたゆるキャラたち

芸能・音楽団体が華やかに競演

けんみん文化祭備北地区フェスティバル庄原大会・3/16

No.7

けんみん文化祭備北地区フェスティバル庄原大会が、東城文化ホールで開催されました。

この大会は、県内の豊かな自然と伝統に育まれた文化の発掘、継承、育成を図ることを目的に、県民の文化活動の発表、鑑賞、交流の場として平成3年から開催されている「けんみん文化祭ひろしま」の地区予選を兼ねて開催されています。

今回は、合唱、邦楽、大正琴、芸能、銭太鼓、日本舞踊、民謡民舞の7分野で、市内18団体、約160人が出演し、多彩なステージが繰り広げられました。

閉会式では審査結果が発表され、5分野6団体の「けんみん文化祭ひろしま'25」への出場が決定すると会場は大きな拍手に包まれました。



▲ジュニア合唱団やまびこ

東城に春のにぎわい

東城まちなみ春まつり・4/5～7

No.6

東城に春の訪れを告げる「東城まちなみ春まつり」が、夢街道ルネサンス認定地区の「街道東城路」で開催されました。五品嶽城の城下町として栄えた風情あるまちなみに、商店や民家に代々伝わる雛人形・生け花などが飾られ、来場者を楽しませていました。

5日のオープニングセレモニーでは、東城保育所の園児による踊りや東城コールエコーによるコーラスが行われ、会場を盛り上げていました。

また、6日には庄原市と近隣市町の酒蔵のお酒を飲み比べることができる「まちなみ酒まつり」が開催され、多くの参加者が各地のお酒を味わっていました。

会場周辺の桜並木も色づき始める中、多くの人がい思いにまちなみ散策を楽しんでいました。



▲東城保育所の園児による踊り

詐欺被害を未然に防ぐ

コンビニエンスストアへの感謝状贈呈・4/16

No.3

庄原警察署の相原正裕署長が特殊詐欺被害を未然防止した宮内町のセブン-イレブン新庄店を訪問し、感謝状を贈呈しました。

同店舗の店員は、3月に電子決済サービスを利用しようとした来店客と、4月に電子マネーカードを購入しようとした来店客から、それぞれ理由を聞き取った際に、不審な点を感じ、110番通報や警察への相談を促したことで、来店客への被害を未然に防止しました。

感謝状を受け取った同店舗オーナーの相良達也さんは「詐欺防止のため、怪しいと思ったら警察へ通報するように、店員に周知を図っている。こうして詐欺防止の一助となってくれたい」と話しました。



▲感謝状を持つ店長の西山さん(左)とオーナーの相良さん(右)

多くの釣り人が集まる

田総川マス釣り大会・3/30

No.2

総領町のなかつくに公園で、田総川漁業協同組合主催の田総川マス釣り大会が開催され、県内外から約60人が参加しました。

会場では、公園内の池に、ニジマスやヤマメなどのマス類が事前に放流され、参加者は中学生以上の「大人の部」、小学生以下の「子どもの部」に分かれ、釣った魚の総重量で順位を競いました。

当日は小雪が舞う肌寒い天気でしたが、気温の上昇と共に魚の活性も上がってくると、銀色の魚体が次々と釣り上げられていました。

参加者は、釣り上げた魚を計量用のバケツに移しながら「たくさん釣れて満足した。入賞できるか楽しみ」と話しました。



▲マス釣りを楽しむ参加者